

Japanese nature-based solutions in a global context

グローバルな文脈からみた日本のネイチャーベース・ソリューション(NbS)

2021/11/10 Wednesday, 12:40-14:10

Climate change and unanticipated natural events pose new challenges for humanity and the environment. Nature-based Solutions (NbS) are an opportunity that is attracting a great deal of attention in Europe as an effective way to address environmental, societal and economic sustainability challenges in both the immediate and long-term including climate crisis. For the successful, widespread, sustainable and democratic implementation of NbS, new governance forms and wider inclusion of people are crucial. In this symposium, we will discuss how nature-based innovations contribute to long-term sustainability in Japanese and global cities.

気候変動や予期せぬ自然現象は、人類と環境に新たな難題をもたらしています。ネイチャーベース・ソリューション(NbS)は、気候変動をはじめとする、持続可能性を脅かす環境・社会・経済問題に、短期的にも長期的にも対処する有効な方法として、欧州で大きく注目されている取り組みです。NbSを成功させ、広く普及させ、持続可能かつ民主的に実施するためには、人々をより広く巻き込み、より深いレベルで参加させることが重要です。NbSは、長期的にみて、日本と世界の都市の持続可能性にどのように貢献しうるのかを議論します。(シンポジウムでは英語をベースとし、日本語でも適宜概訳します。)



Speaker

Bernadett Kiss, Dr.

バーナデット・キッシュ: スウェーデン・ルンド大学国際産業環境経済研究所講師(環境学)、宇都宮大学国際学部外国人特別研究員; エネルギー効率やNbSをめぐるEUの共同研究プロジェクト等に長年従事。



Panelist

Tetsuya, Tsurumi, Dr.

鶴見哲也
南山大学総合政策学部准教授; 「経済発展と幸福の関係性」についての研究を国際雑誌へ多数掲載。近年は自然とのつながりと幸福に関する研究を行っている。



Panelist

Jun Nishihiro, Dr.

西廣淳
国立環境研究所気候変動適応センター(気候変動影響観測研究室) / 室長; 専門は生態学。近著に「人と生態系のダイナミクス 河川の歴史と未来」(朝倉書店)。



Panelist

Rintaro Yamaguchi, Dr.

山口臨太郎
国立環境研究所社会システム領域(経済・政策研究室) / 主任研究員; 専門は経済学。環境や資源と経済の関係、持続可能性指標などに関心がある。

会場 <https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUsd-CurTgsH9LvIDEGpHr3x4bl5wRJ74On>

上記 URL もしくは右の QR コードにより事前登録いただくと、ZOOM ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。当日の開場は 12:30 です。

企画運営: 宇都宮大学国際学部環境と国際協力(高橋若菜)研究室

問合せ: 〒321-8505 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学国際学部附属 多文化公共圏センター

メール: takahashioffice.uu@gmail.com (高橋研究室) 電話番号 028-649-5196 (平日 9-16)

